

製品名: SKP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81063**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	19kDa

抗原情報

遺伝子名	SKP1
別名	OCP2; p19A; EMC19; SKP1A; OCP-II; TCEB1L; MGC34403
遺伝子 ID	6500.0
SwissProt ID	P63208
免疫原	大腸菌で発現したヒト SKP1 の精製された組み換え断片。

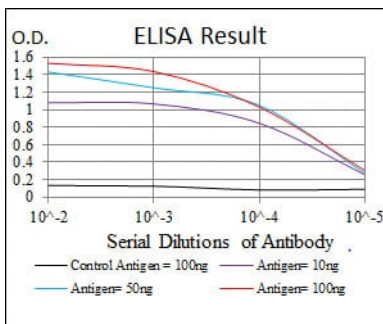
背景

この遺伝子は、このタンパク質、リングボックスタンパク質であるカリン 1、および F ボックスタンパク質ファミリーの 1 つのメンバーからなる SCF 複合体の構成要素をコードしています。このタンパク質は、F ボックスタンパク質に含まれる F ボックスモチーフに

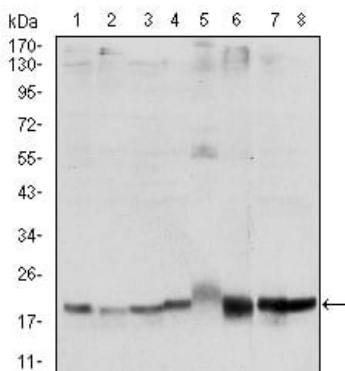
直接結合します。SCF 複合体は、特定のタンパク質基質の制御されたユビキチン化に関与し、プロテオソームによる分解の標的となります。特定の F ボックスタンパク質はそれぞれ異なる標的タンパク質を認識し、細胞周期の進行と発達の調節因子を含む多くの特定の SCF 基質が同定されています。また、このタンパク質は RNA ポリメラーゼ II 伸長因子であることも研究で明らかにされています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、2つの転写バリエーションが生じます。関連する擬似遺伝子が 7 番染色体上に同定されています。

研究分野

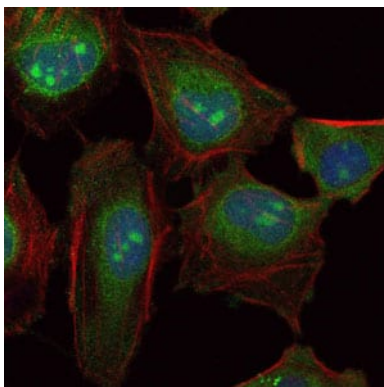
画像データ



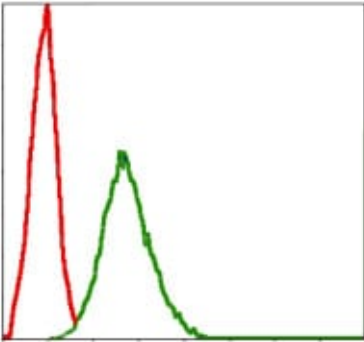
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



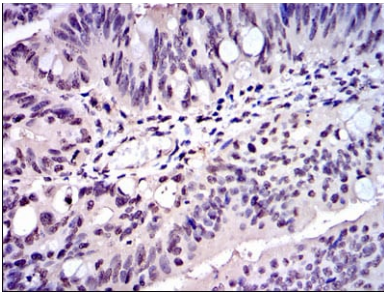
Hela (1) 、 NIH/3T3 (2) 、 A431 (3) 、 RAJI (4) 、 PC-12 (5) 、 Cos7 (6) 、 MCF-7 (7) 、 および HepG2 (8) 細胞溶解物に対する SKP1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



SKP1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



SKP1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



SKP1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。